

【徳島県】令和2年度Specialプロジェクト2020全国的な祭典の実施事業（成果報告概要）

現状と課題

- 障がいのある人がスポーツを楽しむことのできる環境整備の充実
- スポーツのみならず、障がいのある人の芸術・文化活動の推進
- コロナ禍による各種大会やイベント等の中止（活躍の場の設定）

課題解決に向けた取組

- 特別支援学校における障がい者スポーツ活動の充実
- 専門家との連携による新技術を取り入れたアート作品制作
- 実施方法の工夫による子どもが活躍できる場や機会の創設

事業実行委員会の設置

※年間3回開催



徳島県内のスポーツ・文化関係者（行政、学校、スポーツ団体、文化団体、経済団体、有識者等）から構成

- 事業の進捗状況管理及び取組評価
- 開催する祭典の企画や運営に対する助言
- 今後の展開についての検討

「スポーツ活動」の取組

各特別支援学校におけるボッチャの取組

- 「ボッチャ」の普及促進
- 「ボッチャ」を生かした学校間及び地域交流の推進



生涯スポーツへのつながりに期待
個々の実態に応じた補助具の整備が必要

視覚障がい・聴覚障がいのある児童生徒のスポーツ活動の振興

- タンデム自転車体験会の開催



新たなスポーツ活動に親しむ機会の拡充
より多くの児童生徒が参加可能となる計画の検討

- 専門家による卓球指導



個々の生徒において技術が向上
目標となる大会やイベント等の企画・開催が必要

「文化・芸術活動」の取組

専門家と連携したアート作品制作

- 「VRアート」や「プロジェクトマッピング」等のデジタルアートに挑戦



生徒の興味関心が集まる魅力的なテーマ
専門家と連携を図り、幅広い制作活動を展開していくことが必要

地域におけるアート展等の開催

- 地元企業との連携による作品展の開催

地域への理解啓発
自己有用感の向上



- 四国霊場札所での作品展示と作品配布（5校が実施）



特別支援学校の取組を県内外へ発信

コロナ禍におけるオンラインを活用した新たな取組（子どもが活躍できる場や機会の創設）

- リモート競技「ターゲットボッチャ」の考案
- 「コロナに負けるな！リモートdeスポーツ大会」や「とくしまスポーツ交流大会」の開催
※徳島県の近隣県からも大会参加



- WEB会場における特別支援学校「きらめきアート展」の開催
○四国四県から457点の作品が集結
○総アクセス数 30,585回



障がいのある人々が、スポーツ活動や芸術・文化活動を生涯をととして楽しむことのできるレガシーとして、事業成果を活用

共生社会の実現